

かざま うら

ご入学
おめでとうございます。

議会だより



蛇浦小学校



易国間小学校



下風呂学校

村内3小学校で入学式

No. 73

平成26年4月23日発行

■発行:青森県風間浦村議会
■編集:議会広報編集委員会
〒039-4502 青森県下北郡
風間浦村大字易国間字大川目28-5
TEL 0175-35-2115(FAX兼用)

2
4
6
6

- 平成 26 年度予算可決
- 審議内容・定例会のあらまし
- 議会運営委員会報告
- 常任・特別委員会報告
 - 総務常任委員会
 - 大間原子力発電所対策特別委員会
 - 風間浦小学校建設に係る特別委員会
 - 予算審査特別委員会

12
14

- 一般質問
- 議員活動報告・編集後記

平成26年度 村の予算を 可決

平成26年度一般会計・特別会計の各当初予算が第1回村議会定例会で可決されました。一般会計予算の総額は、歳入歳出それぞれ30億4千684万円となり、平成25年度当初予算と比較して、3.1%の増額となりました。

予算編成の状況は

平成26年度一般会計当初予算の総額は30億4千684万円で、平成25年度当初予算29億5千540万1千円より9千143万9千円、3.1%の増額となりました。

日本経済は、アベノミクスの「三本の矢」で長期のデフレを脱却し、経済成長率3%を目指しており、その効果が早期に地方まで届くよう期待されているところです。

一方、自主財源の乏しい本村にとって、歳入の約5割を占める地方交付税が、減額される状況に加え、村の自主財源の根幹である地方税は、当村の基幹産業である水産業の不振と後継者不足、観光産業の低迷、雇用情勢の悪化、高齢化率の上昇などにより税の増収は見込めない状況となっております。

また、ここ数年村職員の定年退職者数が増え、義務的経費である人件費の減少が続いてきてはありますが、マンパワーの確保も必要となっております。

一般会計予算の歳入においては、統合小学校校舎等建設工事が始まるため、これに係る国庫負担金及び地方債が増額となるほか、維持運営費に地域活性化基金の繰入、電源立地地域対策交付金の東通原発1号機とむつ中間貯蔵施設の促進枠分を最大限充当することにより、歳入不足を補い予算編成したところです。

歳出においては、経常的な物件費、補助費等の抑制の限界に加え、普通建設事業における統合小学校校舎等建設工事費等により、対前年度比3.1%の増となっております。

また、平成21年度より診療所不良債務解消に努めてきておりますが、平成26年度では当初予算において、5千万円を計上し平成27年度ですべての不良債務を解消する計画でおります。

簡易水道特別会計予算においては、易国間水源地区整備工事が計上されております。

○一般会計予算

3,046,840 千円
(前年度) 2,955,401 千円
(増減) 91,439 千円



○国民健康保険特別会計予算

342,105 千円
(前年度) 366,491 千円
(増減) △24,386 千円



○簡易水道特別会計予算

119,920 千円
(前年度) 106,884 千円
(増減) 13,036 千円



○介護保険特別会計予算

335,927 千円
(前年度) 340,566 千円
(増減) △4,639 千円



○後期高齢者医療特別会計予算

23,928 千円
(前年度) 29,254 千円
(増減) △5,326 千円



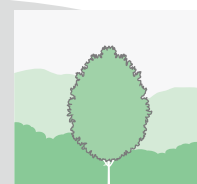
○下風呂財産区一般会計予算

13,539 千円
(前年度) 14,231 千円
(増減) △692 千円

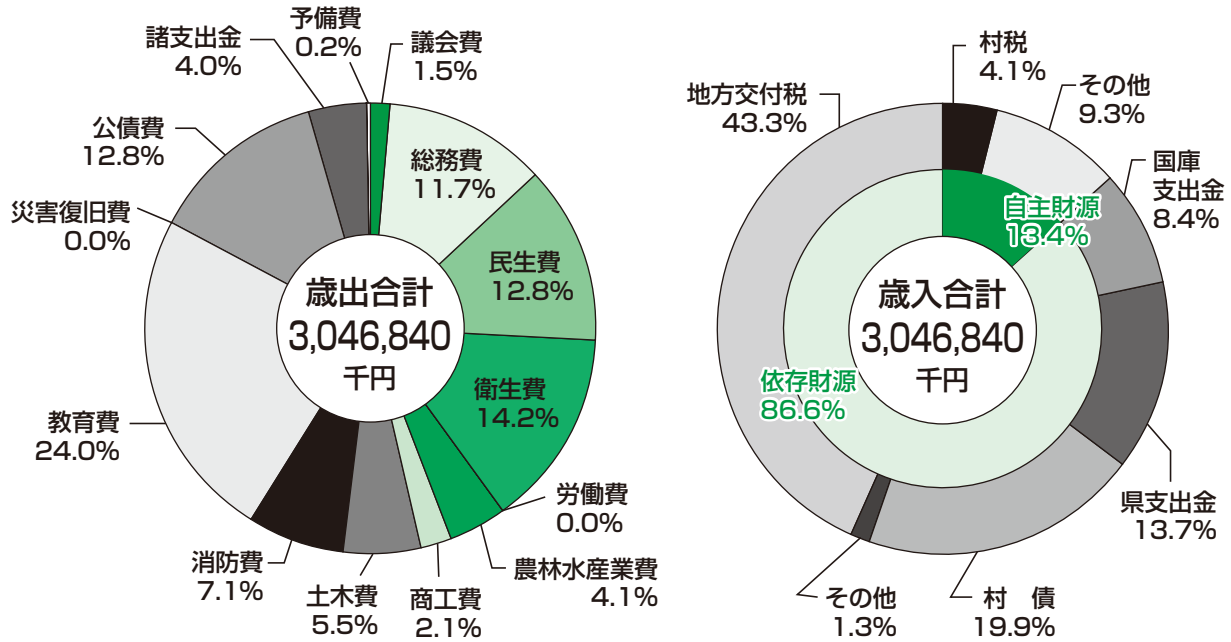


○易国間財産区一般会計予算

1,550 千円
(前年度) 1,433 千円
(増減) 117 千円



平成26年度一般会計歳入歳出予算構成図表



目的別歳出予算の主な内容（前年度予算との比較）

（単位：千円）

科 目	予 算 額 (前年度)	前年度予算との比較
1. 議 会 費	45,197 (53,507)	人件費等の減により 8,310千円 の減額
2. 総 務 費	355,115 (367,857)	人件費及び参議院議員選挙費等の減により 12,742千円 の減額
3. 民 生 費	389,260 (394,037)	障害者基本計画等策定業務委託料の増、後期高齢者医療負担金の減により 4,777千円 の減額、風間浦保育所は、平成26年度から指定管理者制度導入
4. 衛 生 費	432,783 (486,279)	風間浦診療所運営費貸付金等の減により 53,496千円 の減額
5. 労 働 費	2 (10)	8千円 の減額
6. 農林水産業費	125,927 (349,914)	蛇浦漁港改修事業の終了等により 223,987千円 の減額
7. 商 工 費	64,433 (70,490)	緊急雇用創出対策事業等委託料の減により 6,057千円 の減額
8. 土 木 費	167,154 (127,193)	広域避難路調査設計事業計上により 39,961千円 の増額
9. 消 防 費	216,585 (218,493)	積載車購入費等の減により 1,908千円 の減額
10. 教 育 費	732,162 (306,050)	風間浦小学校新築工事請負費の計上により 426,112千円 の増額

科目	予算額 (前年度)	前年度予算との比較
11. 災害復旧費	4 (4)	
12. 公債費	390,253 (398,092)	義務教育施設事業債元金償還終了により 7,839 千円 の減額
13. 諸支出金	120,807 (178,856)	地域活性化基金積立金の減により 58,049 千円 の減額
14. 予備費	7,158 (4,619)	2,539 千円 の減で 7,158 千円 を計上
歳出合計	3,046,840 (2,955,401)	

人事案

全会一致同意

☆教育委員会委員の任命につき同意を求める

内容・3月18日任期満了の佐賀敏一氏の再任

☆教育委員会委員の任命につき同意を求める

内容・根戸内教子氏を教育委員に任命(新任)



佐賀 敏一 氏



根戸内教子 氏
(ワリコ)

専決処分承認案

全会一致承認

☆平成25年度一般会計補正予算

内容・除雪委託料の補正1千万円

条例案

原案可決

☆風間浦村特別職の職員

の給料等に関する条例の一部を改正する条例

内容・平成26年4月

1日から平成27年3

月31日までの間、村

長の給料月額を10%

減額する

賛成4 反対2 賛成多数

◆反対討論◆
予算配分の中で、きちつと組み合わせをしない中で、村長の給料の削減には賛成できない。

☆風間浦村教育委員会教育長の給与及び勤務時間に関する条例の一部を改正する条例

内容・平成26年4月

1日から平成27年3

月31日までの間、教

育長の給料月額を

10%減額する

賛成4 反対2 賛成多数

◆反対討論◆
予算配分の見直しするか、安易に削減するべきでないということで、反対する。

☆風間浦村国民健康保険

税条例の一部を改正する条例

内容・算定を改正

☆風間浦村桑畑温泉施設

設置条例の一部を改正する条例

内容・入浴料金の改正

正

☆風間浦村営住宅管理条例

の一部を改正する条例

内容・公営住宅法施行令の改正及び寺ノ

正

☆風間浦村道路線の認定

内容・広域避難路として、古野・大川目線の道路認定

道路線の認定

全会一致認定

☆風間浦村道路線の認定

内容・広域避難路として、古野・大川目線の道路認定

上団地新設共用開始に伴う家賃の改正

☆風間浦村廃棄物の処理及び清掃に関する条例

の一部を改正する条例

内容・アックスグリー

ンへ自らが直接運搬

する場合の手数料処理方法の改正

☆風間浦村教員住宅使用

料徴収条例の一部を改正する条例

内容・村内教員住宅

への入居要件の改正

☆社会保障の安定財源の

確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための

消費税法等の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

内容・消費税率の改正

正に伴う使用料等の改正

正

正

正

正

正

正

正

正

正

正

正

正

正

正

正

正

正

正

正

正

規約変更

全会一致可決

☆北圏域障害程度区分認定審査会共同設置規約の変更

内容・新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の一部施行に伴い、引用している部分の条文整備

補正予算案

全会一致可決

☆平成25年度一般会計補正予算

内容・1億7千630万3千円の減額

歳入の主なもの

・国庫支出金363万9千円の追加

・県支出金3千420万1千円の減額

・繰入金2千676万円の減額

・村債1億2千10万円の減額

歳出の主なもの

・障害者自立支援介護・訓練費等給付費260万円の追加

・再生可能エネルギー導入設計業務委託料700万円の減額

・簡易水道特別会計繰出金296万円の減額

・水産振興対策及び組合経営強化対策事業補助金1千万円の減額

・緑町線道路改良工事請負費4千400万円の減額

・風間浦小学校校舎新築工事設計業務委託料2千950万円の減額

・過疎地域自立促進特別基金積立金1千800万円の減額

・地域活性化基金積立金1千813万円の減額

・歳入の主なもの

内容・397万4千円の追加

・国庫支出金217万

☆平成25年度国民健康保険特別会計補正予算

内容・397万4千円の追加

・歳入の主なもの

・国庫支出金217万

8千円の追加

・県支出金179万6千円の追加

歳出の主なもの

・制度改正に伴うシステム改修委託料52万円の計上

・直営診療施設勘定繰出金294万3千円の計上

☆平成25年度簡易水道特別会計補正予算

内容・296万円の減額

歳入の主なもの

・繰入金296万円の減額

歳出の主なもの

・変更許可申請書作成委託料780万円の減額

・易国間水源及び前処

理設備工実施設計業務委託料735万円の計上

☆平成25年度介護保険特別会計補正予算

内容・50万円の減額

歳入の主なもの

・繰入金56万3千円の減額

☆平成25年度後期高齢者医療特別会計補正予算

内容・91万6千円の減額

歳入の主なもの

・繰入金91万6千円の減額

歳出の主なもの

・後期高齢者医療保険基盤安定負担金83万円の減額

契約変更

全会一致否決

☆村港整第1460号蛇浦漁港整備工事請負契約の一部変更

内容・工期を平成26年8月30日までに変更する。

◆反対討論◆

消費税の増額も関連するし、契約不履行ではないか。工期内に終わらない原因がわからない。もう一度調査し報告すべき。

平成26年 第1回臨時会開催

去る、3月20日第1回臨時会が開催されました。

契約変更 原案可決

☆村港整第1460号蛇浦漁港整備工事請負契約の一部変更

内容・工期を平成26年8月30日までに変更する。

賛成4

反対2

賛成多数



提案理由を説明する飯田村長



蛸島議長



蛇浦漁港整備工事

3月定例会
第1回臨時会

議会 運営



川本次郎
委員長

定例議会開催

2月5日に会議を開催し、平成26年3月定例会の運営に関する事項について審議しました。

☆定例会は

3月7日より14日までの8日間とすることになりました。

☆新年度予算審議については

予算審査特別委員会を設置し、3月10日から12日までの3日間は、本会議を休会とし、予算審査特別委員会を開催することとしました。

☆人事案件の提案がある場合としての表決方法は

無記名投票で行います。



議会運営委員会の様子

総務 常任



金森一規
委員長

12月5日開催

行政からの報告

生活環境整備対策

村民生活課から

☆保育所民営化にかかる報告

問

委員

・今まで村で運営した経費と指定管理委託料との差はどのくらいあるのか。また、指定管理料が段階的に上がっているが理由はなにか。

答

行政側から

・正規に言えば、平成24年度のおよそ6千500万円位なければ本来の事業運営は出来ないものと考えられます。

また、段階的に上がっている理由は人件費や物価の上昇、消費税を見込んでのことだと事業者から説明を受けています。

2月14日開催

委員から提起された調査事項

☆桑畑地区の落石防止工事終了後の国道の回復について

杉山 太委員

落石防止工事が終了しているが、国道に設置されている防護壁の撤去及び国道の回復の予定に関する報告を求める。

答

産業建設課長

防護壁の撤去は、平成28年度頃の予定と思われる。また、国道の回復予定は防護壁撤去の際、道路も併せて回復予定である。



桑畑落石現場

☆保育所指定管理の経過について

能登勝彦委員

① 昨年12月5日議会説明会後の進捗状況について
② 協定内容の詳細な説明を求める。
③ 指定管理料をどの時点で妥当と判断したのか。



指定管理が決まった風間浦保育所

答

村民生活課長

- ① 現在は、保育所との細かい摺り合わせをしている段階で、保育所の引き継ぎの業務に入ることになっている。
- ② みちのく福祉会から村長への説明として地元を大切にして、現在の購入状況は維持していきたいという意向が示されている。
- ③ 財政担当も含めた協議を合計3回行い金額の折衝をしている。最

答

参事兼総務課長

順位をつけて、村としての判断を決めながら

最終的な財政との協議のもとに12月5日に提示となった。

☆本村が抱えている公共施設の老朽化の実態と改廃等取り組みについての計画はあるか。

八戸義之 委員

やっつけていかなければならないとおもっている。

☆旧下風呂診療所について

金森一規 委員長

売却する考えはないか。

答

参事兼総務課長

どういうふうな形で売却すればよいのか検討に入り売れるのであれば土地と建物付きで早めの売却を考えている。



旧下風呂診療所

行政からの報告

総務課から

☆地熱開発調査に係る中間報告について

問

委員

・東北電力の送電線の空気がないということだが、地熱開発後の送電線についてオリックス側からの説明がされているのか。

答

行政側から

- ・送電線の枠がいつぱいということなので今後オリックスの動向を注視しなければならない。
- ☆防災関係事業について
- ☆がんばる地域交付金について

生活環境整備対策

村民生活課から

☆保育所民営化にかかる経過報告

問

委員

・村が運営した方が安くサービスが良いのであれば、村で運営するのがいいのではないのか。

答

行政側から

・協定書の33条に協定書の変更というのがあり、運営状況の結果によって業務上の変更の協議ができるものであり、一年間の様子を見た上で検討していきたい。

☆シルバー人材センター設立に係る経過報告

☆アックスグリーンへの自己搬入の取扱変更について

産業振興対策

産業建設課から

☆平成25年度村建設工事の進捗状況等について

問

委員

・緑町線道路改良工事は中止となったが、来年度はどのようになるのか。

税務国保課から

☆国民健康保険税率の改定について

問 委員

・国民健康保険税率の改正について、何故これだけの基金が残ったのか。

答 行政側から

・保険の適正化及び収納率向上などに取り組むことにより特別調整交

付金や県調整交付金が多く交付されたことが続き、結果的に税率を下げても運営ができるようになった。

大間原

12月5日開催

☆大間原発三ヶ町村協議会の報告について

・12月18日三ヶ町村協議会として、青森県に対する道路整備要望活動を了解していただきたい。

答 行政側

・どういう要望をすべきかは、協議会で議論すべきであり、役員会を開けるものであれば、そちらで決めてもらいたい。



平井 賢一 委員長



料金の改定される湯ん湯ん

答 行政側から

・避難路の工事が緑町線とつながる想定で工事が行われるので、工事の重複を避けるため避難路の工事を優先させる。

☆村道認定について（下

北広域避難路）

☆桑畑温泉の入浴料金改定について

問 委員

・料金の改定を行っても今後黒字になるとは考

答 行政側から

えられない。どうすれば良いのか考える段階にきているのではないか。
・燃料代が一番の原因だといのはわかっている。今後、施設の保守にどのくらいの経費がかかるか雇用問題などを詳しく調査し、議会に相談したい。



減塩と野菜摂取量増加を目的とした軽食サービス（国保事業：特定健診時）

問 委員

・風間浦村は、こういう体制でいくということを特別委員会で集約して、三ヶ町村協議会に持ち込み、話し合いをしていただきたい。



委員会の様子

小学校建設



杉山 太
委員長

12月13日開催

行政側から

☆風間浦小学校建設概要について

☆風間浦小学校に係る概算事業費・財源見込みについて

☆風間浦小学校校舎及び屋内運動場配置図について

問
委員

・小学校統合時には施設一体型の小中一貫教育を行うと言っていたが、最近は一貫教育は統合してから考えるというところで説明されていて意味合いが違ってきているのではないか。

答

教育委員会

・完全複式制を単式制にし、次に中学校との連携を深めていき、連携を深めていく過程の中で一貫教育を見いだしていきたいと考えている。

問

委員

・平成24年度ベースで歳入を推移しているが現政権の改革をみれば、見通しが甘いのではないか。

答

教育委員会

・県市町村課とも打ち合わせをして、地方交付税は抑えた形で見ていきます。

委員長のまとめ

・今回の委員会には、各

2月17日開催

行政側から

☆風間浦小学校開校までの主要行程予定表について

☆風間浦小学校建設に係る概算事業費・財源見込みについて

☆風間浦村各小学校備品一覧表について

☆多目的グラウンド整備事業工事概要について

☆平成26年度財源見込みは大丈夫なのか。

答

参事兼総務課長

・平成26年度の予算査定は既に終了しており、この数字を持って二カ年の計画を組んでい

る。補助金と過疎債を使い財源的には見込めるので大丈夫です。

問

委員

・資材や人件費がものすごく高騰している。10%以上の補正予算が必要であるならば見直しも必要になるのではないのか。

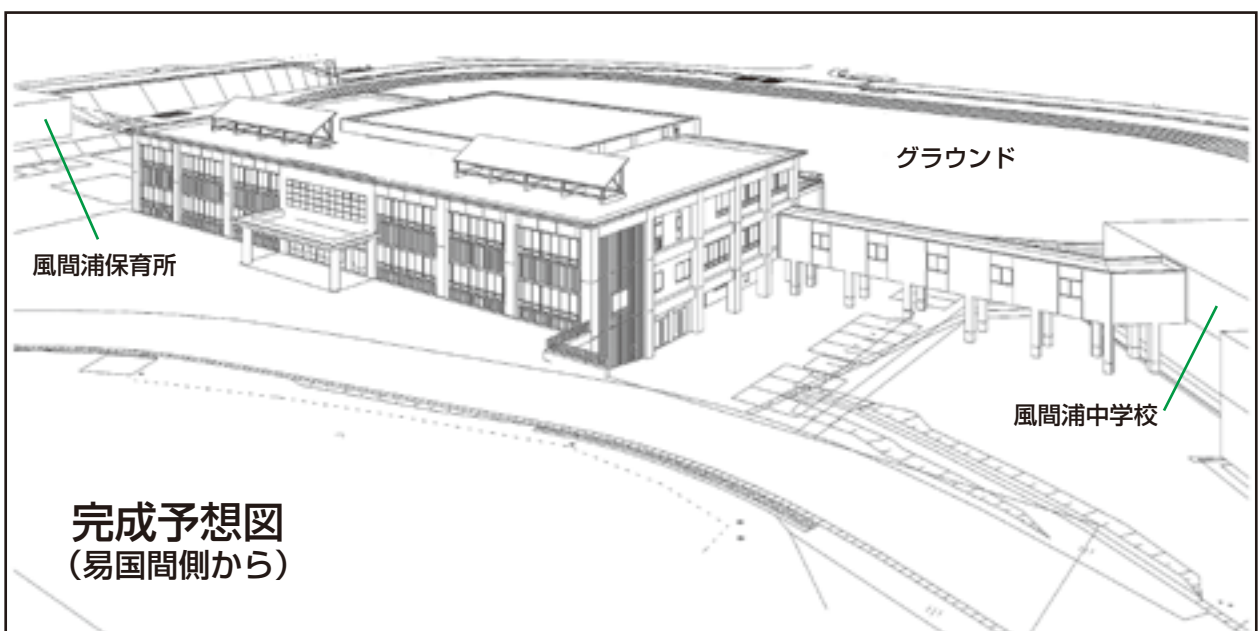
答

村長

・設計の段階で十分自身を精査して行うように指示している。膨大な額をだしてまでやるということとは不可能であり、きちんと精査して行う考えでいる。

委員長のまとめ

・各委員の意見を聞いた結果、できるだけ経費を圧縮できるよう再考していただきたいという意見もありましたが、本日の行政側からの説明の内容を賛成多数と認め承服することにいたします。



完成予想図
(グラウンド側から)



予算
審査



菊池 隆年
委員長

予算審査特別委員会を設置し、3月10日から12日の三日間審議を行いました。

平成26年度予算の審査結果

平成26年度一般会計予算及び各特別会計予算を原案のとおり可決

総括質疑

少数意見や住民の声が予算編成に反映されるような配慮をしていただきたい。

問 今後も減少していく職員体制で行政運営が円滑に行えるのか。

答 効率の良い行政運営を行うため、議会及び村民の協力をお願いしたい。



委員からの質疑

委員から

行政側から

今年度当初予算は、全体的に減額されているが、必要なところは増額するなど、予算の必要性を見極め、めりはりのある予算編成を行ったのか。

と

財政状況を見ながら予算編成を行った。

ふるさと納税のPRを積極的に行い、村の産業活性化のためホームページを見易く活用し易くしていただきたい。

と

平成26年度ホームページ改修を予算化しているので、早めに取り組んでいく。

納税組合の組織改編及び報償費のあり方について。

と

構成する世帯数のあり方、報償費についても庁内において検討していく。

防災避難路について、地域の協力を得ながら村独自の計画を立てないのか。

と

地域防災組織と連携を取りながら検討していく。

患者送迎バスが病院送迎以外にも利用されているので有料化しては。

と

有料化も考えているが、多目的利用ができるか検討していきたい。

あわび増殖センターの効率的利用法を考えないのか。

と

各漁協には要望があれば利用できると呼びかけはしている。

風間浦村に住みたいと思えるような教員住宅の建設は考えないのか。

と

風間浦小学校建設に合わせ、教員住宅建設も考えている。

水道施設の改修を平成26年度から行うが、改修費を料金に反映した場合、何%の上げ幅を想定しているのか。料金改定を行わずに出来るのか。

と

各種料金の見直しを検討課題としているが、いずれは上げていかざるを得ない。

水道料金の滞納処理について

と

特別委員会の設置を検討し、行政・議会でも取り組んでいくこととし、法的に専門家に相談することも考え、議会の協力を得ながら解決策を見だしていきたい。また、口座振替について広報等で周知していく。

財産区については、地域に任せてはどうか。

と

自治会ができたことにより、地域と協議し出来るだけ早く地域に任せるようにしたい。



金森一規 議員

水道施設整備
及び水道料の
収納状況は

問

基本及び実施設計業務委託は終了し、どのような方法で施設改修を行うのか。

答
村長

現在使用している集水管及び取水井は使用せず、新たに集水管に代わり取水スクリーン管を、取水井に代わる沈砂池を新設いたします。

問

水道料の収納状況は、改善できているのか。また、どのように徴収しているのか。



易国間地区水源地

答
村長

昨年12月11日に開催された、納税貯蓄組合研修会において口座振替についての協力を依頼し、12月から本年2月までに8件口座振替に申込みされています。

問

水道のインフラ整備にはもちろん過疎債も使えると思うが、整備するとしたら、いつから行うのか。

答
村長

平成26年は、水源地改良工事を簡易水道事業債と過疎債を活用して行う。



菊池隆年 議員

教員宿舎の改
廃及び今後の
対応について

問

「風間浦過疎地域自立促進計画」の中でも「老朽化が進んでいることから、その対応が必要になっている」と指摘されている問題であるが、現在、何ら方向性が示されていません。村内3小学校の統合も控え、適切な住環境整備を図り一人でも多くの教職員のかたに村内に住んでもらえば、人口減少対策の一助にもなるのではないかと考えています。そこで今後宿舎改廃について、どのように考えているのか伺います。

答
村長

現在16戸設置し、7戸は入居中であります。昭和53年以前に建築した12戸については、特に状態が不良であるため解体の方向で検討している。小学校建設事業に伴い、平成27年度内を目処に2棟2戸建設の方向で事業実施を検討しています。



教育宿舎の今後は？



杉山 太 議員

空き家の現状
について

問

村は、実情の軒数等を把握しているか。

答

村 長

平成24年8月に風間浦消防分署が調査し、空き家と認定した軒数は、蛇浦21軒、易国間32軒、桑畑4軒、下風呂34軒の合計91軒となっております。

問

今後、何らかの施策を検討する考えはあるか。

答

村 長

空き家実態把握事業を、平成26年度青森県市町村元氣事業において事業申請し、事業採択される見込となりました。

この事業では、消防分署が調査した空き家に加え、倒壊の可能性が高い建物の判定や土地・建物の所有者も含めた空き家

の実態把握調査を実施したいと考えています。



この街並みの中にも空き家が？



八戸義之 議員

①本村、防災避難所及び避難道整備計画について
②風間浦村統合小学校の複式学級に到来予測について

問

①本村全域について、防災避難道整備計画が明らかにされていないが、地区別年度別の計画について考えを求めらる。

②防災に係る避難所と避難道は一体性という観点から防災避難道計画策定について、先ず各地区での検討を要請し

地区意見を集約し、実行ある計画策定にあたるべきと思うが村長の考えを求めらる。

答

村 長

各地区の避難経路や避難所、孤立場所や危険個所の洗い出しを行い、現状に即した最も効果的な避難経路を確保していくため、村内各地区の最適な避難場所・避難経路を検討し、それを確保するために必要な対策を定め、県が実施するものと市町村が実施するものを明確化しております。

次期防災計画改定時には、危険性の高い避難所の選別作業を実施したいと考えております。引き続き自主防災組織と行政が連携し、地域からださりました要望内容を検討し、防災対策に取り組む、災害に強い村づくりを目指してまいります。

問

①風間浦小学校の複式学級到来予測について

②統合小学校の規模は、児童数減少を十分把握しての規模であるか。

答

教育長

各学年の人数により開校から4年間は、単式学級となる見込であります。平成32年度以降の児童数については、本年4月2日以降の出生者がその対象者数となり、現状においては不確定なものでありますので、ご質問の再来につきましては、未だ予測できないものでありますので、ご了承いただきたいと思います。

開校時の児童数及び学級数をもって校舎基準面積、屋内運動場面積が定められており、この基準に基づく範囲内の学校施設規模において建設事業を進めているところであります。統合時においては文科省で定める校舎等基準に合致した施設規模となっておりますので、ご理解いただきたいと思います。

地熱資源調査事業に係る研修会



説明会の様子

2月24日、中央公民館において、地熱資源調査事業に係る「行政・議会」説明会が行われました。

本説明会は、下風呂地域で地熱資源開発調査を実施しているオリックスが、下風呂小学校の南西約1キロに広がる国有林の一角での地表調査の結果を報告したものです。

説明会では、これまでの調査結果に加え、地元の理解が得られれば、地質構造を調べる物理探査や掘削調査などを行うこととして、今後の計画についても説明があり、将来的には地熱発電の事業化を目指したいとの報告がされました。

同様の説明会は、後日下風呂地区において地域関係者等にも行われました。



地熱調査地図

編集後記



議会広報編集委員会
副委員長 金森 一規

春、日差しも長くなり季節としては、躍動的な時でもあります。
若葉が芽吹き、街では、小学校・中学校の入学式。
雪も消え、ドライバーもうきうき気分です。浮かれがちです。スピードは、控えめに、心に余裕を持ち運転しましょう。子どもが飛び出して来るかも、運転する方も、道路を歩く人もお互い気をつけましょう。